

平成 26 年 8 月 30 日

高等学校長様
中国語担当教員様

高等学校中国語教育研究会 関西支部
支部長 日下 恒夫

第 19 回近畿地区高等学校中国語弁論大会の開催について

初秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

近畿地区における中国語実施高校はすでに 150 校を超えました。私共は、中国語学習に積極的な生徒を育成し、学習成果の発表の場を作り、生き生きとした中国語教育・異文化理解教育の推進を目的として、平成 8 年度より標記の大会を開催して参りました。

本年度も下記の要領にて開催いたしたく、ご案内申し上げます。つきましては、趣旨をご理解の上、貴校生徒の参加と教員の派遣について、ご配慮くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時：平成 26 年 11 月 8 日（土）
12:00～12:20 受付（※参加人数等により開始時間が変更される場合もあります。）
12:30～16:30 入門暗唱の部・初級暗唱の部・弁論の部
2. 会 場：関西大学千里山キャンパス（阪急電鉄 千里線「関大前」より徒歩約 5 分）
〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3 丁目 3 番 35 号 TEL. 06-6368-1121
<http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/access.html>
3. 主 催：高等学校中国語教育研究会 関西支部
後 援：（申請中）中華人民共和国 駐大阪総領事館 教育室
大阪府教育委員会 兵庫県教育委員会 奈良県教育委員会
和歌山県教育委員会 京都府教育委員会 滋賀県教育委員会
大阪市教育委員会 京都市教育委員会 大阪ユネスコ協会
公益財団法人国際文化フォーラム 一般財団法人日本中国語検定協会
4. 参加資格：近畿（2 府 4 県）の高校で中国語科目を履修している、又はクラブ活動等で中国語を学んでいる生徒。
中国語を母語とする国や地域に 9 ヶ月以上在住した経験がなく、また日常的に中国語を用いた経験のない生徒。
 - ・入門暗唱の部＝週 3 時間（通年 3 単位）以下で、1 年未満の学習者。
 - ・初級暗唱の部、弁論の部＝単位数に制限なし。
 - ※過去に弁論の部で最優秀賞を受賞した者は、どの部にも参加できない。
 - また初級暗唱の部で最優秀賞を受賞した者は、暗唱の部には参加できない。
 - ※参加可否については、後日（10 月下旬）、追って申込書連絡先に E メールで連絡する。
 - ※参加資格など不明な点については、書類送付先(13. 参照)まで問い合わせること。
 - ※発表順は研究会で責任をもって決定する（例外的配慮もあり）。

5. 内 容：
・暗唱の部…同封の課題文から選択する。(入門A～C、初級1～3)
・弁論の部…300字以上。自作で未発表のもの。原稿提出後は内容を変えないこと。発表中は原稿を見ないこと。発表のあと中国語での簡単な質疑応答(2問の予定)がある。
6. 制限時間：入門暗唱の部＝2分半以内、初級暗唱の部＝3分半以内、弁論の部＝5分以内
7. 参加人数：1校につき各部門3名までとする。(応募締切後の参加者の変更はできません。)
8. 参加費：1名につき500円(振り込まれた参加費の返金はできません。)
9. 審査員：4名(予定)
10. 審査基準：暗唱の部＝発音・声調・表現力(各10点)
弁論の部＝発音・声調・表現力(各10点) 内容・質疑応答(各5点)
11. 賞：各部門に最優秀賞のほか、優秀賞、奨励賞等を設ける。
12. 応募締切：10月10日(金)必着。(締め切り厳守)
13. 応募方法：①申込用紙に必要事項を記入し、各校でまとめて、下記送付先に郵送する。(fax不可)
※弁論の部参加者は弁論原稿(14.参照)を1部必ず同封すること。(提出後は内容を変更できない。)

送付先：〒571-0016 大阪府門真市島頭4丁目9番1号
大阪府立門真なみはや高等学校 柳素子教諭宛
TEL：072-881-2331

- ②参加費(1名につき500円)を各校でまとめて10月10日までに下記口座に振り込む。
その際、振込者名は必ず学校名とすること。(領収書が必要な場合、申込書に記入)
※振込手数料は、参加者側で負担すること。
※現金書留等では受け付けない。

振込先：三井住友銀行 寺田町支店 (店番号 143)
名義：高等学校中国語教育研究会 関西支部
代表 明照典子(ミョウジョウ ノリコ)
口座番号：0958025

14. 弁論原稿：原稿用紙B5版[20×20=400字詰]自筆横書きとする。(別紙原稿例参照)
1行目：演題(中国語で) 2行目：学校名(日本語で) 3行目：氏名(日本語で)
4行目：空白 5行目～：本文(300字以上)
弁論の部参加者は10月10日(金)までに、参加申込書とともに(13.①参照)送付すること。(提出後は内容を変更できない。)
なお、原稿は研究会会報等に掲載されることがありますのでご了承ください。
15. 協賛団体：(依頼中)
(株)アルク、(株)光生館、(株)高電社、(株)好文出版、(株)研究社、
(株)東方書店、(株)白水社、(株)白帝社、中国国家観光局大阪駐在事務所、
日中国際フェリー株式会社、
大阪産業大学孔子学院、関西大学外国語学部、関西大学文学部、天理大学、
桃山学院大学、立命館孔子学院、ISI国際学院

※来聴歓迎※
出場者の家族、友人の来聴を歓迎します。ゲームなどの交流行事も予定しています。